

2018年3月

共通帆走指示書2018

黒船ヨット倶楽部委員会

この帆走指示書は特別に規定のある場合を除き年間のレースに共通するものです。各レースにおいては、特別に請求のない限り発行しませんので大切に保管して下さい。

責任の所在 ヨットレースの慣習に従い、各艇がスタートするか否か、またレースを続行するか否かを含め、各艇の安全の責任は艇長にあり、レース委員会、当倶楽部はいかなる責任を負いません。また全ての事故に関して責任は事故当事者にあり、主催者および当倶楽部は関知しません。海域の使用、レースの開催、コースの設定についても、レース委員会などは一切の責任を持ちません。

1. 参加資格 <2018年黒船ヨット倶楽部レース実施要項 1. 参加資格>による。
かつ、法定検査に合格し、適格な免許所持者が乗り込むキャビンのついた健全なセーリングクルーザー。
2. 適用規則 2005～2008国際ヨット競技規則及び、当帆走指示書、実施要項および各レース案内。
3. ハンディキャップ ORCクラブレーティングを使用する。
■タイム オン ディスタンス (Time On Distance)
(島まわりなどのレースで採用)
修正時間 = 所用時間 - Time On Distance 数値 × 距離(mile)
■タイム オン タイム (Time On Time)
(風上風下コースで採用、併せてトリプルナンバー (Triple Number)
微風、順風、強風の風速 Range を使用)
修正時間 = 所要時間 × Time On Time 数値
4. フラッグ 会員艇はレース時間内「倶楽部旗」を船体後部に掲げなければならない。
ビジター艇については、エントリー時に「倶楽部旗」を貸与し、同じくレース時間内は「倶楽部旗」を船体後部に掲げなければならない。
5. 出艇申告／エントリー
各レースで指示する。レース委員会所定の申込をした艇のみレースに参加したと認められる。特に指定のない限り、レース当日にエントリー費を支払い、エントリーリストに責任者がサインしてエントリーが完了する。
オープンレース以外の倶楽部レースでは、クルーリストの提出は省略するが、安全のためハーバーの下架申込書には確実に記入すること。
各艇の責任者が一括参加申込書に責任の所在などについて確認のうえ署名すること。サニーサイドマリーナ保管艇以外については別途提出すること。
6. 帆走指示書の変更
艇長会議にて説明する。

7. スタート日時 各レースで指示する。


8. コース 各レースで指示する。

9. スタート及びフィニッシュライン

本部船のマストまたはフラッグポールとリミットマークを結ぶ線。

スタートラインとフィニッシュラインの位置は同じとは限らない。

10. スタート信号

スタート6分前に長音一声とともに「L旗」  を下ろす

スタート5分前に長音一声とともに予告信号旗「オレンジ

旗」

を掲揚する。

スタート4分前に長音一声とともに準備信号旗「P旗」



を掲揚する。

スタート1分前に長音一声とともに準備信号旗「P旗」を降下する。

スタート時刻に長音一声とともに予告信号旗「オレンジ旗」を降下す

る。

11. スタート延期

「回答旗」



を揚げ、長音2声を発する。長音1声とともに

「回答旗」を降下し、1分後に予告信号（5分前）が発せられる。

12. リコール

「X旗」を揚げ、長音1声を発する。出来るだけ艇名を通知する。

* X旗は全てのリコール艇がスタートラインの内側に復帰するまで、あるいはスタート4分後の早いほうまで掲揚される。

13. ゼネラルリコール

「第1代表旗」



を揚げ、長音2声を発する。

「第1代表旗」降下後、その1分後（リスタート5分前）に

長音一声とともに予告信号旗「オレンジ旗」



を掲揚する

リスタート4分前に長音とともに準備信号旗、今度は「I旗」



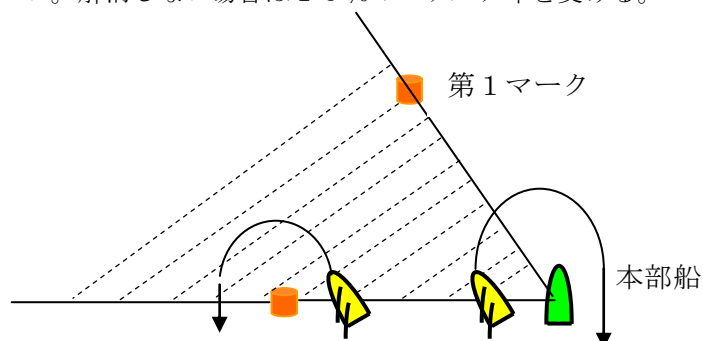
を掲揚する。

リスタート1分前に長音とともに準備信号旗「I旗」を降下する。

* 1分間ルール

ゼネラルリコール後の再スタートでは、**原則**1分間ルールを適用する。

この場合、スタート信号前1分の間には艇体または艀装品、身体の一部が斜線の部分に入っていた艇は、スタートラインの左右いずれかの延長線上を横切ってスタートラインの内側へ帆走した後、スタートしなければならない。解消しない場合は10%のペナルティを受ける。



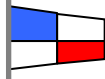




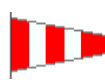

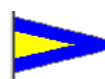




ただしゼネラルリコール後に1分間ルールを適用するか否

かは

レースコースの設定やその時の状況によりコミッティーの判断に委ねる。
その場合は「I旗」の掲揚は無い。

- 14. コース短縮 各レースで指示するが通常のフィニッシュと違うことが多いので、注意すること。
- 15. タイミット 各レースで指示するが、時刻で表示された時には、スタート時間が延期になっても原則変化しない。変化する時はスタート後何時間と表示する。
- 16. レースの中止 海上及びスタート後は本部艇にN旗またはN/H旗を揚げ長音3声を発し参加艇にできるだけ通知するが、通知が行き渡らなくても運営側は責任を持たない。(レースが中止になってもエントリーフィーは返却しない)
- 17. 帰着申告 フィニッシュをもって帰着申告とする。全艇のフィニッシュまで本部船が撤退できないので、リタイアした艇は本部船または陸上本部まで速やかに申告すること。また、ビジター艇はフィニッシュ後、貸与した「倶楽部旗」を速やかに返却すること。
- 18. 抗議 フィニッシュ時に本部船に抗議の意志を伝え、1時間後までに書面にて陸上本部まで提出すること。

19. 信号旗

倶楽部旗		本部船を意味する
L旗		レース艇集合
オレンジ旗		予告信号5分前
P旗		準備信号4分前
I旗		1分間ルール
回答旗 (AP旗)		スタートの延期
X旗		リコール艇あり
第1代表旗		ゼネラルリコール
S旗		コース短縮
N旗		レースの中止
C旗		マークの変更
		

B旗 抗議

注意事項

航行注意禁止区域

レース海域への往復及びレース中は、他船の航行に支障をきたさないように十分注意をして下さい。フェリー及び他の大型船の航行を明らかに妨害した場合は失格となります。

当然ながら航路の立ち入り禁止箇所への新入は失格厳重注意になります。

また、漁労中の漁船（遊魚船を含む）にはなるべく接近しないように注意して下さい。